



診療看護師（NP）として活躍する修了生

2022.7.1

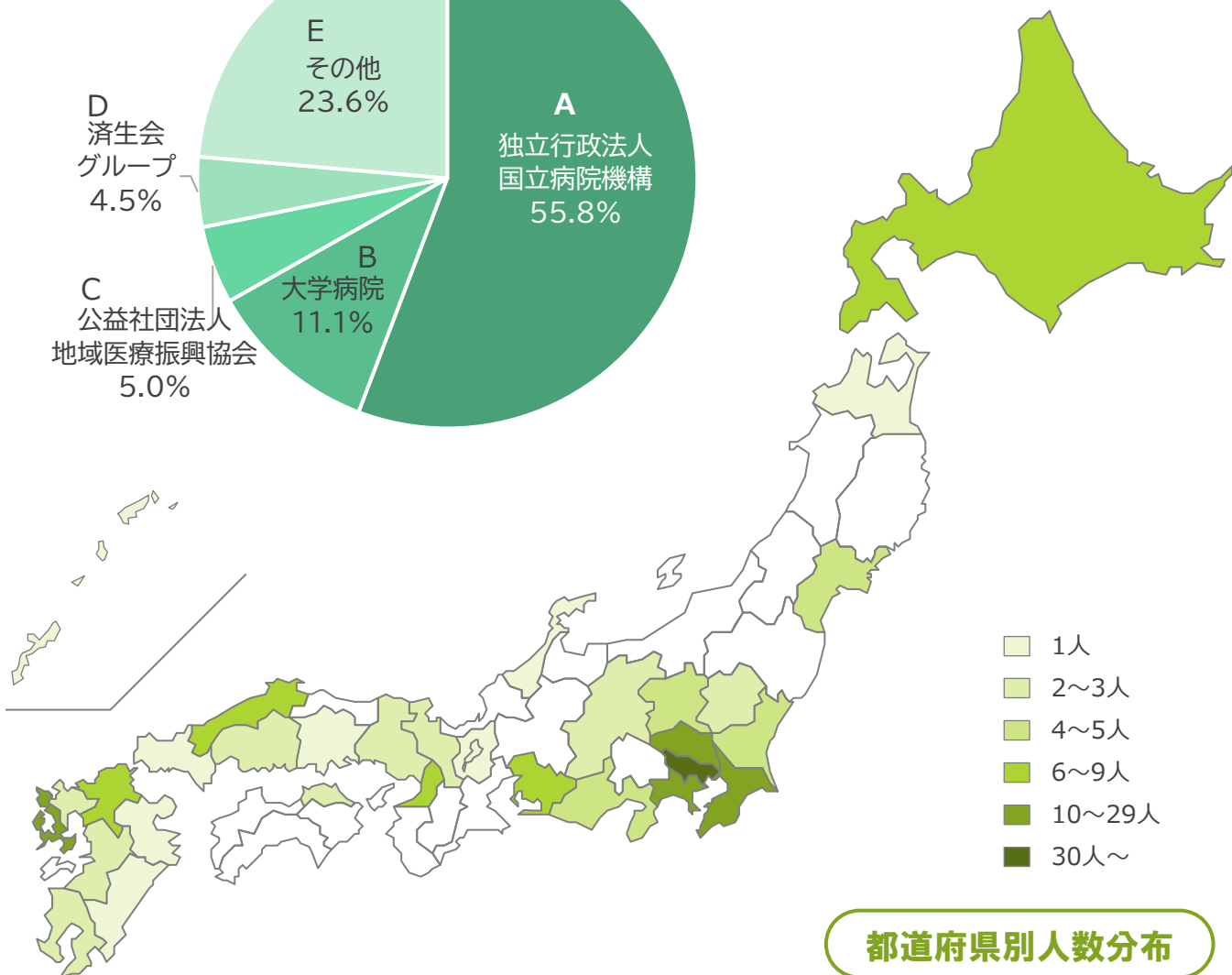
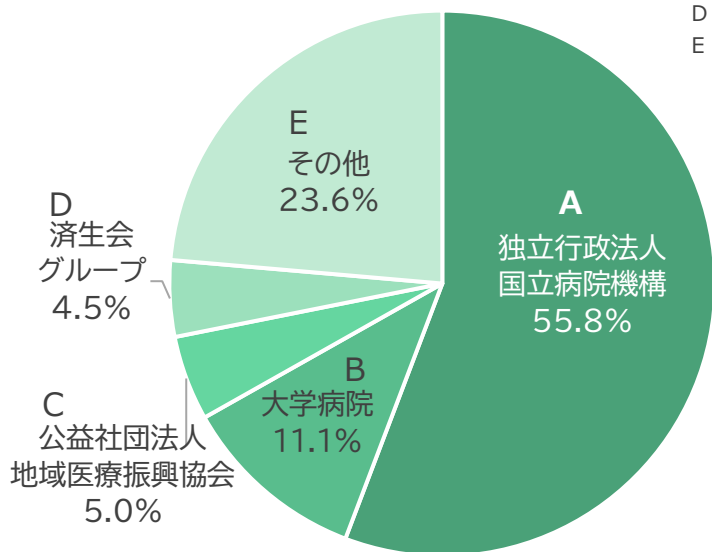
高度実践看護コースでは、独立行政法人国立病院機構と連携して、医学の知識と初期医療に関する実践力を備え、患者さんにタイムリーに診療を提供できる診療看護師（NP）を育成しています。平成22年度の開設から令和4年3月までに 11期 204名の修了生を輩出し、その活躍の場は全国に広がっています。

本コースの修了生が複数名在籍している施設も増え、修了生は診療看護師（NP）として、患者さんはもちろんのこと、医療スタッフからの期待に応えて日々活躍しております。

<主な就職先>

- A 東京医療センター／災害医療センター／埼玉病院／名古屋医療センター／大阪医療センター／九州医療センター／長崎医療センター
- B 聖マリアンナ医科大学病院／東京女子医科大学東医療センター
- C 東京ベイ・浦安市川医療センター／練馬光が丘病院
- D 東京都済生会中央病院／横浜市南部病院／横浜市東部病院
- E 湘南鎌倉総合病院／青梅市立総合病院 など

施設別 就業割合



都道府県別人数分布

診療看護師(NP)が活躍する現場から

1 和出 南さん (平成29年3月修了)

川崎幸病院 診療看護師 (KSNP)

当院は、昭和48年の開設以来、神奈川県川崎幸区を中心に川崎市南部および横浜市北部を診療圏とする病院として活動しております。当院は、「断らない医療」を理念に掲げ、24時間365日、断らない救急を実践しています。

私は、卒後研修終了後の2018年4月より脳神経外科に配属となりました。脳神経外科は医師4人と後期レジデント1人、NP1人の6人体制で診療や治療を行なっています。

脳神経外科では「断らない救急」の信念のもと、脳卒中ホットラインを設置しており、他院からのドクターカー要請や緊急手術に必要な脳卒中が疑われる患者の救急搬送依頼などを積極的に受け入れています。そのため、緊急手術も非常に多く、一番多い日には1日9件もの手術を行なったこともありました。このような状況の中、私は手術や外来で手薄になってしまっている病棟、ICU、SCUの患者の処置や処方、急変時の対応などタイムリーに提供できるようにできる限り病棟やユニットに在中しながら活動しています。特に、脳外科では遷延性の意識障害により呼吸器離脱が困難な患者も多く、そのような患者のウイニングに難渋することもあります。リハビリや看護師と共に情報を共有しウイニングのプランを考えていたり、時間があるときには呼吸器装着患者の入浴を看護師と行なったりすることもあります。

また、外来や手術などで対応できない医師に変わり救急患者対応や緊急手術のアシスタントなども行なっております。脳卒中に対するt-PA療法や血栓回収術は1分1秒でも早く再開通させることが患者の予後を改善させると言われています。昨年からは、医師2人にて対応していたのに代わり、医師とNPで対応を行なっており、今後はNPでも役割を果たすことが可能であるという結果を出していきたいと考えております。



2 荻野 康崇さん (平成24年3月修了)

熊谷総合病院 診療看護師

私の勤務する熊谷総合病院は埼玉県北部に位置し、310床の中規模総合病院で、診療看護師 (NP) は内科系と外科系各1名の2名が在籍しています。当院のNPは診療部 診療看護科に所属し、各診療科での業務を行います。

現在、私は外科で周術期を中心とした業務を行っています。外科での業務は、外来・病棟で症状や治療を踏まえた患者さんのマネジメントを行い、手術では助手はもちろんのこと、緊急時の麻酔管理をしています。このようにNPは、外科チームの一員として、医師と一貫した方針や共通認識のもと、マルチパーパスな役割を担っています。NPがこれらの業務を担うことで、リアルタイムかつシームレスなチーム医療を多職種と展開でき、NPとして非常にやりがいをもって仕事に取り組んでいます。

NPの活動を通して、まだNPがいない診療科からもNPを望む声をいただいています。しかし、当院は他施設と異なり、NPのローテーションなどの研修は整ってはいませんが、発展途上であるがゆえ、ご自身の希望で新たな役割を獲得できることが可能な環境でもあります。地域医療を担うNPの形を一緒に作り上げていきたいと思います。



3 利光 恵利子さん (令和2年3月修了)

国立病院機構 東京医療センター
診療看護師 (JNP)



独立行政法人国立病院機構では診療看護師(JNP)として全国で37施設104名(2020年4月時点)が勤務しており、当院では現在11名の診療看護師(JNP)がクリティカルケア支援室に所属、救急科、総合内科、脳神経外科、外科、麻酔科、心臓血管外科の6つの診療科に配属されています。

現在私は1年間のローテーション研修を経て脳神経外科に配置され2年目を向かえます。手術で医師が病棟に不在であっても患者さんに対応出来るよう身体診察を行い、採血や画像検査の確認、その結果必要な対応をタイムリーにできるよう心がけています。

また当院の診療看護師(JNP)は各診療科での活動の他に、PICC外来・発熱外来や救急外来での診療などの役割を担っています。また教育的な役割も担っており、初期研修医、看護師、その他コメディカルへの教育や特定行為研修者の指導も行っています。

今後も多職種との連携・協働しながら、タイムリーで安全な医療を提供し医療の質向上に貢献できるよう働いていきたいと思います。

研修スケジュールの一例

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合内科			生理検査 (エコー)	救急科		リハビリ科		外科		放射線科	

脳神経外科JNP 一日のスケジュールの一例

8:10~回診	13:00~休憩
8:30~包交	14:00~
9:00~	リハビリ合同カンファレンス
採血・データチェック	14:30~カンファレンス
検査・処方オーダー	15:30~
12:00~	病棟患者さんのリハビリ
嚥下評価・食事調整	



東京医療保健大学大学院 高度実践看護コース (修士課程)

国立病院機構キャンパス (東急田園都市線駒沢大学駅徒歩10分) 〒152-8558東京都目黒区東が丘2-5-1

TEL : 03-5779-5031

URL : <http://www.thcu.ac.jp/>

E-mail : higashigaoka-po@thcu.ac.jp